

## 内子バイオマス発電合同会社 バイオマス利用装置(内子発電所)

### ■事業概要

本事業は、愛媛県内子町の町有地で、内子町森林組合小田原木市場に隣接し、敷地面積約 800 m<sup>2</sup>、最大出力 1,115kW の内子発電所を建設し、隣接する工場で製造される木質ペレット燃料を購入して、ガス化発電設備で発電した電気と、ガス化発電で発生する熱を温水として回収しバイナリー発電設備で発電した電気を供給するものである。

項目	内容
利子補給対象	バイオマス利用装置への融資
所在地	愛媛県喜多郡内子町
用途地域	—
最大出力	1,115kW
工事予定期間	平成 29 年 12 月～平成 30 年 9 月
供用開始予定	平成 30 年 10 月

### ■立地環境

事業予定地は、愛媛県内子町の町有地で、内子町森林組合小田原木市場に隣接しており、既に造成済みとなっている。騒音、振動、悪臭の規制地域の指定はなく、事業予定地の周囲は樹林地である。樹林地を挟んで東側に学校や病院が立地しているが、最も近い小学校まで 620m、最も近い民家まで 280m である。本事業で排水の放流先となる小田川は水質環境基準の A 類型に指定され、また、内子町全域が内子町の景観づくり計画の景観計画区域に設定されている。

### ■実施した環境影響調査

内子町及び愛媛県などの既存文献資料調査のほか、大気質、騒音、水質については専門技術者による現地調査を実施している。

### ■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

内子町の全自治区を対象に説明会を開催するとともに、環境配慮計画書を事業者のホームページで公表し意見を受け付けた。

### ■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

- 供用中の配慮：発電効率の高い発電方式の採用、騒音源の密閉化、振動源の防振化などの環境配慮の取組を行う。
- 建設工事中の配慮：低騒音・低振動工法、低騒音型低振動型建設機械の選択、騒音・振動の影響が低減する工法や建設機械の配置及び運転、工事用車両が短時間に集中しない工事計画とする。



### 環境配慮に関するコメント

大気質、騒音、水質等については、現地調査を実施して現地の状況を把握し、また環境影響を定量的に予測したうえで環境配慮の取組を計画していること、町内全自治区を対象に説明会を実施するなど地域住民等と丁寧な情報交流を図っていることは評価できる。

一方、排水に当たっては十分に排水温を下げ、排出先の小田川の河川水温や河川生態系に影響が生じないよう配慮をお願いしたい。また、フォローアップでは、工事中の建設機械の稼働及び工事用車両による影響と供用時の景観だけでなく、環境配慮の取組で不十分な点があれば必要に応じてフォローアップするようお願いしたい。